



12月9日、2学年を対象とした「面接・マナー指導講習会」、1学年を対象とした、「先輩から後輩への夢相伝講座」を開催しました。「面接・マナー指導講習会」では、上野法律ビジネス専門学校より講師を招いて、面接試験に対する心構えや自分を知ることの大切さを学びました。夢相伝講座では、青森県で自分の夢を実現させ活躍している方々からお話を聞き、有意義な講話となりました。以下は生徒の感想です。

面接・マナー指導講習会(2学年)

上野法律ビジネス専門学校

★今回の講習会を通して面接試験のイメージが180度変わりました。今までは、自分の性格や長所、短所を悪く言うことは面接では避けるべきだと思っていましたが、長所も短所も隠さずに話すことが合格するためには必要という事が分かりました。私は、今まで自分自身を見つめる機会がなかったため、受験まで約1年しかないので冬休みの間に自分の性格や長所、短所などをノートにまとめてみようと思います。



★特に印象に残ったことは、面接官は面接を受けに来る生徒と一緒に仕事をする仲間だと思っていること、長く働くことができるかを見ていること、仕事に対する能力を持っているかを見ているということを知りました。仕事に対する能力は主に3つあり、国語力、論理的思考力、一般常識ですが、私にはまだその能力がないので、これから身に付けられるようにしていきたいです。



★模擬面接では、みんなの前で受け答えをしなければならずとても緊張しました。途中、深く聞かれて言葉に詰まってしまう場面があり、先を読んで言葉に出すことがいかに難しいことかを実感しました。今回みんなの前で面接を行ったことは貴重な経験となり、これからの自分の成長につながると思うのでとても良かったです。3年生になったときに後悔しないように、今のうちからニュースや新聞を見て社会を知り自己分析をして準備を着実に進めていきたいと思います。

★志望理由には、ただ理由を聞くだけではなく、なぜ、たくさんの仕事がある中でこの仕事を選んだのかなど、明確な理由が問われていることを知りました。また、志望理由はアピールするための重要な項目なので、しっかりと考えていきたいです。自分自身のことをいかに相手に伝えられるかがポイントになることを知ることができました。これから面接のマナーや言葉選び、伝える力を磨き上げていきたいです。



先輩から後輩への夢相伝講座(1学年)

講師のみなさま

- ATOM Works株式会社(六ヶ所村)
- 下北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室(むつ市)
- みちのく銀行(青森市)
- (株)福萬組(十和田市)
- CONSE(おいらせ町)
- 地方独立行政法人青森県産業技術センター野菜研究所(六戸町)

講話の内容

- ①講師の業務内容
- ②「しごと」についたきっかけ
- ③「しごと」の楽しさ、つらさ、将来の夢
- ④「しごと」に必要な能力・資格
- ⑤青森での働きがい、地域への貢献・愛着・思い
- ⑥高校生へのエール



★今回の講話を聞いて感銘を受けた点は、銀行は「人と人とのつながり、地域の人々をつなげる町づくりを支える仕事」だという点です。今までは銀行はお金を貸し借りするだけの仕事だと思っていました。しかし、実際の仕事は、お客様一人一人と向き合い、経営改善や成長支援のアドバイスを行い、地域密着型の会社を金融を通して支えています。将来は人と人との繋がり、地域貢献できる大人になれるように頑張りたいと思います。



★今回の講話で学んだことは、「Time is money」ではなく「Time is life」ということです。「時は人生」というように、「一度きりしかない人生」ということで、自分がやると決めたことは最後まで諦めないで、一つの物事に「はまる」ということをこれから生かしたいと感じました。将来、後悔することがないように「真の自分」を組み立て、色々なことにチャレンジしていきたいです。

地域と連携したキャリア教育推進事業「県内企業促進プログラム」 みつめよう青森の企業

県内企業を紹介する動画公開

県教育委員会では県内企業の紹介動画を作成し、下記のとおり Web にて公開されています。若手社員の一日常、企業が求める人材像、県内企業を希望した理由など、高校生に近い年代の社員の働く様子を中心とした映像となっております。是非参考にして自分の進路に役立ててください。

- 【映像内容】 若手社員の一日常
企業が求める人材像
高校生へのアドバイス
県内企業就職の理由

【公開期間】 令和2年11月16日(月)～令和3年3月31日(水)

